
豊島区立トキワ荘マンガミュージアム特別企画展

トキワ荘の少女マンガ

1 展覧会名 「トキワ荘の少女マンガ」

2 主催等

主催：豊島区

後援：公益財団法人としま未来文化財団

協力：トキワ荘協働プロジェクト協議会／明治大学 米沢嘉博記念図書館・現代マンガ図書館

企画制作：株式会社手塚プロダクション

3 会期

令和3年9月18日（土）～12月5日（日）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）・年末年始

4 会場

豊島区立トキワ荘マンガミュージアム

5 特別観覧料（グッズ付き）

大人500円、小中学生100円、未就学児・障がい者手帳をご提示の方及び介助者（1名まで）無料

6 展示概要とみどころ

少年マンガは男性が、少女マンガは女性が描くもの、という印象を持っている人は決して少なくないと思います。

しかし、トキワ荘のマンガ家は多くが男性。では、一体だれが少女マンガを描いていたのでしょうか？

実は、トキワ荘に住んでいたほぼすべてのマンガ家が、少女マンガを描いていました。本展では、トキワ荘の各マンガ家による少女マンガの一部を、直筆・複製原稿や、掲載誌・単行本などでご紹介するとともに、新たに調査した作品リストを展示いたします。また、当時の少女向け雑誌ではどのような作家が活動されていたのか、その状況などもあわせてご紹介していきます。

【①トキワ荘のマンガ家たちによる少女マンガ作品リスト】

トキワ荘の9人のマンガ家たちが描いた少女マンガ作品を新たに調査し、手塚治虫が入居した1953年から、山内ジョージがトキワ荘を去った1962年までの10年間に絞り、少女マンガ作品リストを制作展示します。

【②少女マンガ試行錯誤の時代】

トキワ荘にマンガ家たちが住んでいた「1953年から1962年」の少女マンガに焦点をあて、当時の雑誌を展示し、どのようなマンガ家たちが活躍し、どのように変化していったかをご紹介します。

【③トキワ荘の少女マンガ】

トキワ荘のマンガ家たちが描いた作品を、直筆・複製原稿や当時の雑誌などを用いて、少女マンガの世界感の中でご紹介します。

また、少女マンガ編集者であり「少女クラブ」編集長でもあった丸山昭とマンガ家たちの絆や、「いずみあすか」「U・マイア」名義の合作マンガもご覧いただけます。

※画像使用・表記等の注意点

- ・この画像は、本展覧会の広報目的の場合のみ掲載可能です。
- ・画像掲載の場合は、事前にご一報ください。
- ・画像には必ず、各コピーライト表記を添えてください。
- ・画像のトリミング、文字のせ、吹き出し風テキスト添えるレイアウトは、お控えください。
- ・WEB上で使用する際は、画像のコピーができないよう処置し、会期終了後は削除してください。
- ・画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ・画像データは、使用后、必ず消去してください。
- ・手塚治虫、手塚プロダクションの「塚」は旧漢字表記が正式な表記となります。
- ・石森章太郎の「」は、「森」の「木」1つ分の大きさが目安です。「」の表記は、基本的に小さくして表記ください。(目安としては、「全角のまま60%に縮小」)

(1)

「トキワ荘の少女マンガ」
フライヤー



©手塚プロダクション ©水野英子

(2)

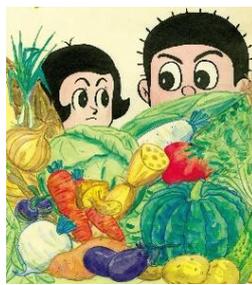
手塚治虫
「エンゼルの丘」



©手塚プロダクション

(3)

寺田ヒロオ
「にらめっこ」



©寺田ヒロオ

(4)

森安なおや
「お母さん」



©森安なおや

(5)

石森章太郎
「龍神沼」



©石森プロ

(6)

赤塚不二夫
「まつげちゃん」



©赤塚不二夫

(7)

水野英子
「銀の花びら」



©水野英子

(8)

よこたとくお
「ミーちゃんふたり」



©よこたとくお

(9)

山内ジョージ
「エリカ」



©山内ジョージ

【問い合わせ先】

豊島区立トキワ荘マンガミュージアム

〒171-0051 東京都豊島区南長崎 3-9-22 南長崎花咲公園内

Tel:03-6912-7706 Fax: 03-6912-7749



豊島区立
トキワ荘 マンガミュージアム
TOSHIWA CITY TOKIWASO MANGA MUSEUM